

へいあん

秋号
2011年



第122回 秋季大会中部南支部予選準々決勝にて敗退(ベスト8)

平安病院野球部、20~50歳代の雑草魂での闘志で攻めるも吉報は次節へと持ち越す!!

目次	「5大疾患」の向こう側に見えるもの	2
	ふれあい祭	3
	部署紹介 北4病棟・第13回 医学会	4
	わくわく祭・戦えサッカー部	5
	わたしの手・あゆみ会	6
	新人職員紹介・ちょっと聞いてみた。	7

誓いの言葉

私たちは「心を病める人にへいあんを」の基本理念のもとに

- ①療養者への貢献を第一義とし
- ②家族と共に、地域と共に
- ③より良い医療を提供するための努力を続けていきます。

診療科目

精神科、心療内科、内科

心の健康相談 / ストレスの相談 / 不眠の相談 / 児童、青年期の心の相談 / 心身症の相談
精神科デイ・ケア / 精神科デイ・ナイト・ケア / 精神科作業療法 / 精神医療相談
高次脳機能障害相談 / 認知症の相談 / 理学療法 / 訪問看護 / 老人医療 / 介護相談

受付時間および診療時間のご案内

受付時間・・・月～金：午前8:00～12:00 午後1:00～5:00
土曜日：午前8:00～12:00

診療時間・・・月～金：午前9:00～12:30 午後2:00～5:30
土曜日：午前9:00～12:30

休日・・・土曜日後・日曜日・祝日・8月1日(創立記念日)・年末年始は
休診とさせていただきます。

その他・・・初診の方や受診のご相談は医療相談係にてお話を聞きします。
お気軽にご相談下さい。

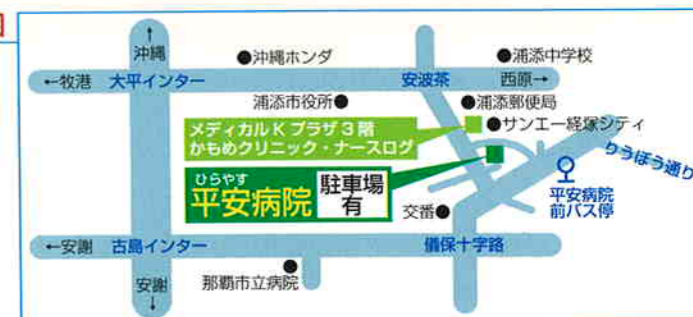


〒901-2553
沖縄県浦添市字経塚 346 番地
TEL.098-877-6467
FAX.098-877-7320



<http://www.heian-hp.or.jp>

周辺地図



精神障害者社会復帰施設
生活訓練施設
「経塚苑」

〒901-2111
沖縄県浦添市字経塚 348
TEL : 098-875-0818
FAX : 098-877-7061
heian@ryucom.ne.jp

かもめクリニック

〒901-2111
沖縄県浦添市字経塚 633
メディカルK プラザ3階
TEL : 098-988-0326
FAX : 098-988-0926

訪問看護ステーション
「ナース・ログ」

〒901-2111
沖縄県浦添市字経塚 633
メディカルK プラザ3階
TEL : 098-870-4789
FAX : 098-870-4788

精神障害者社会復帰施設
通所授産施設
就労プラザ わくわく

〒901-2114
沖縄県浦添市安波茶 3-2-10
TEL : 098-942-5200
FAX : 098-942-5040
heian-wakuwaku@ii-okinawa.ne.jp



医療法人へいあん平安病院
病院長
大田 裕一

「5大疾患」の 向こう側に見えるもの

厚生労働省は7月6日、「4大疾病」であるがん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病に精神疾患を追加して「5大疾患」とする方針を示しました。昨今の職場のうつ病などの増加を受け、国は精神疾患に対して重点対策が必要と判断し、医療計画の柱とし訪問診療や訪問看護などの在宅医療と精神疾患の予防を考えているようです。精神疾患に注目することで不必要な入院を減らし、療養者の社会復帰を促すなど、施設収容型の精神医療を転換させ、肥大化した医療費の削減をすることも考えていると思われれます。

ただし精神疾患の予防については不十分な点が多いのです。たとえば統合失調症は、発症してすぐに治療を始めると、悪化しにくくなるという研究があります。しかし実際は発症から医療機関にかかるまでに時間がかかっている印象があります。予防にしても、発病前早期や児童・思春期に精神科を受診しても現在の精神医療では正しい判断が出来ないことがあるのです。たとえば円滑な対人関係を築けないいわゆる「発達障害」の人たちの特徴が、統合失調症の初期症状と誤解されてしまう事があります。うつ病でも同様の問題があります。近年、対人関係を原因とする一時的な落ち込みにまで不適切な薬が処方される事への指摘があり、精神科医の間でも論争になっています。

いずれにせよ私達精神科医療の現場に携わる者は、自身の責任を重くものとして受け止めなければいけません。レベルアップを図るため、経験を積み重ね、日々精進していく必要があります。

祭 ふれあい祭

去った9月23日(金)、毎年恒例のふれあい祭りが開催されました。この祭は今回で11回目を迎えます。

ここ浦添市経塚には、沖縄療育園・わかたけ・メデイカルKプラザ・平安病院と医療・福祉に関わる施設が多数あります。この4団体の主催にて、「ふれあいの心 ゆいまーるの輪」をテーマに開催されたのがこのふれあい祭りです。

近隣のあずま保育園園児によるエイサーに始まり、ピエロショー、療育園父母会による盆踊り、わかたけ利用者による手話ソング・沖縄療育園によるダンス・平安病院による大正琴と歌、ディアマントスのファンというオジヤマンテスによる迫力あるライブなど様々な催し物がありました。



老いも若きも共に踊ったり、出店のおいしいものをほお張ったりと過ごした3時間。たくさん笑顔がありました。

この祭のように経塚という地域だけでも、高齢の方もいれば子供もいる。自分で立つことができず、車椅子で生活している方もいる。長い間入院生活をしている方もいる。病気になること、障害をもち生活することは、誰が決めたことでもない。今、健康で生活しているも誰も明日の自分はわからない。だからこそ、お互いが自分のできることを互いのためにやる、そんな空間がどんどん広がる町であってほしい。

皆の笑顔から「楽しかった。」と感じる心は、一緒ということがわかります。

「ふれあいの心 ゆいまーるの輪」というテーマは、この祭から日々の生活の中に浸っていくことを願います。

部署紹介

北4病棟

精神科治療病棟
病床数52床

特徴 受け持ち看護制

1人の看護師が入院から退院まで継続してお手伝いさせていただきます。退院後、在宅や単身で生活を希望される患者様に、入院中から患者様本人だけでなくご家族の方も参加していただき、医師をはじめとする専門スタッフも一緒に治療課題、生活課題について話し合う場を設けながら地域生活が行えるように取り組んでおります。

必要な場合には、市町村の担当者とも連携を取りながら安心して退院ができるよう取り組んでいます。

患者様の安心、安全、安楽は当然ながら、精神科病棟へ入院したことが決してマイナスではなかった！患者様1人ひとりがその人らしさ「自分らしさを大切に」できるよう私たち病棟スタッフも頑張っています。

スタッフの職歴

現在は医療従事者として働いておられますが、以前は土木、水道、建築関係の仕事や事務員飲食店経営、外国を放浪した事があるなど意外な一面を持つスタッフがおられます。これからもよろしくをお願いします。



第13回 医学会を終えて

当院の医学会は創立記念日の8月1日に開催され、平成11年の第1回をかきりに、今年で13回目を迎えました。今年も各部署から日頃取り組んでいる実践報告が16席あり、活発な質疑応答が行われました。

その中で「長期入院を余儀なくされた患者様の退院促進」をテーマに発表した部署を紹介します。ある患者様で余命わずかと本人



が知った時「退院して自宅で最後を迎えたい」と希望し、病院スタッフで、本人とともに

に治療と退院に向けて取り組みました。

経過の途中で体力が落ち退院に向けて動くことが困難となると、治療を拒む時期が見られました。しかし、スタッフは本人に諦めずに治療し退院していかうと働きかけていきました。現在では、介助が必要な状態で毎日を過ごしていますが、「退院したい」という希望は失わずに、治療に取り組んでいます。

一人一人の患者様が何を求め、これから先どのように生きていきたいかを共に考えていくことが大切であるということを改めて気づかされた発表でした。



祭 わくわく祭

第8回わくわく祭(東日本大震災チャリティー抽選会)を終えて

医療法人へいあん 通所授産施設「就労プラザわくわく」は、すぐに一般就労へ就くことが難しいという方が、生活リズムを整え、働く訓練をしていくための施設です。平成15年に開所し、早8年が経過しました。

去った7月16日(土)、年に一度の一大イベントであるわくわく祭を開催しました。毎年、



企画・運営・実施まで利用者さん、スタッフと協同して行っています。今年もいかに地域の方にたくさん来てもらおうか、頭を抱え、何度も話し合いを重ねてきました。

司会進行をまかされた利用者さんは、「いい経験になるかもしれないから。」と大役を引き受けてくれました。その他の方も受付係、出店手伝い、抽選係などそれぞれ大事な役割に就き、皆の協力のもと無事終えることができました。

普段控えめなある利用者さんは、「わくわく祭は初参加だったのでイメージがつかなくてどうなるか分からなかった。当日は普段よりもお客さんが殺到していて忙しかったけれど、お客さんが満足した顔を見せてくれて嬉しかったです。」と充実した表情で語ってくれました。

地域の方に楽しんでもらうための企画、運営をするとい



うのは普段なれないことの連続で大変なことです。その分やりとげた時の達成感、仲間との連帯感などを普段以上に感じることができたと思えます。

利用者さんの生き生きとした顔を見ると私たちスタッフも同様に学ばせていただいたように思います。最後に、祭にご協力くださいました皆さまへ厚くお礼を申しあげます。

被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申しあげます。

わくわく一同



戦え! サッカー部

豊見城市与根漁港ビーチサッカー場がオープン。

第1回記念試合として当院チームが招待いただき参加。善戦の甲斐なく8対2の惨敗。日頃の練習不足と、土壇場でのチームプレーの欠如が悲劇を呼んだ！今回は主催者側に花を持たず結果と成ったが2月の大会に向けての足掛かりは出来つつある!!

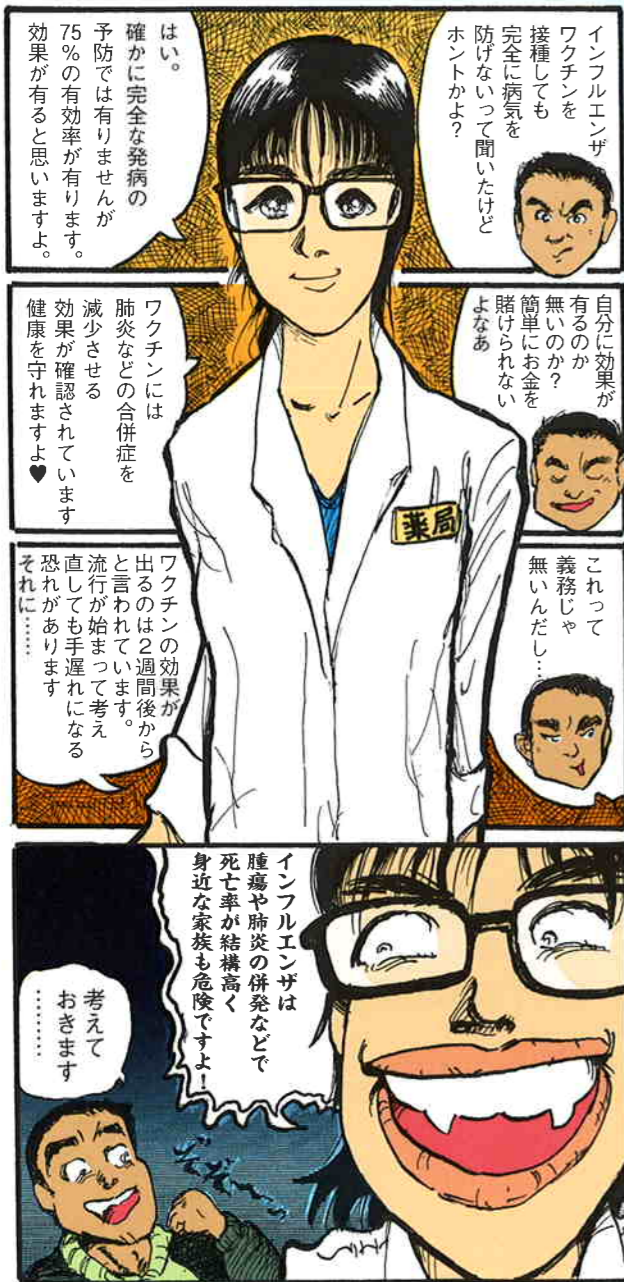


ボールを奪われる伊井選手



ちょっと聞いてみた。

P.N. 佐☆次田



新人職員紹介



【氏名】 當山 伸
【所属】 総務部
【職種】 経理
 みなさんこんにちは。7月1日に入职した當山伸と申します。これまでに得た知識や経験を生かし、「平安病院のため何ができるのか」を考えながらやっていきたいと思っております。よろしくお祈りします。



【氏名】 興儀 賢也
【所属】 診療部
【職種】 言語聴覚士(ST)
 8月1日付けで入职しました言語聴覚士(ST) 興儀賢也と申します。主に、摂食嚥下障害(うまく飲み込めない)やコミュニケーション障害(うまく喋れない、理解できない等)の患者様に対し、リハビリを行います。精神科医療に少しでも貢献できるよう微力ながら頑張っておりますので、ご指導のほどよろしくお祈りします。



【氏名】 伊集 美恵子
【所属】 中央3階病棟
【職種】 看護師
 9月1日より中央3階病棟に配属になりました伊集美恵子です。精神科での勤務は初めてなので毎日が学ぶことばかりです。中央3階病棟は毎日が賑やかで、病棟の雰囲気にも少しずつ慣れてきました。焦らずに自分自身にゆとりを持って笑顔絶えずことなく患者様に接していきたいと思っております。そして精神科看護の素晴らしさを学んでいきたいと思っております。御指導をよろしくお祈りします。



【氏名】 山本 舞子
【所属】 薬局
【職種】 助手
 医療のお仕事は全くの初心者の私を採用して頂き、心から感謝しています。そのご厚意に報えるよう、全身全霊で頑張りたいと思っております。皆様、どうぞ宜しくお願いします。



デイケアで制作された作品



制作過程

革細工キーホルダーができるまでの流れ



①型紙より革をおこして革を染色する。



②ボタンをはめる穴をあける



③金具とボタンをつけて、色だし・つや出しをぬったら完成です。



わたしの手

このページは、作品・思い・声を紹介しています

今回は、デイケアで制作されている作品を紹介します。

デイケアでは「物づくりサークル」のプログラムを実施しています。プログラムの中では、革細工の他にも書道や絵画制作も実施しています。「物づくりサークル」の良さは、集中力・持久力を身につけるだけではなく、作品を作りあげる達成感やその喜びを他のメンバーと共有できるところにあります。今回は、革細工キーホルダーを作っている様子を撮影させていただきました。撮影中は、工具の使い方に苦労する一方で、無事に完成した時はすごく喜んでいるメンバーさんの姿がとても印象的でした。

編集後記

秋号の機関紙完成しました!!みなさん読んでみての感想はいかがでしょう?平安病院の最近の話題としては、平安病院前に片道二車線の大きな道路ができています!!交通量も増えてきているため道路を横断するときもドキドキです。皆様、当院にお越しの際は車に気をつけてお越しください。 T.M

院内家族会 「あゆみ会」

当院では通院・入院患者様のご家族を対象に月1回『癒し合い、分かち合いの場』として院内家族会「あゆみ会」を開催しております。

平成23年8月~9月は作業療法士、臨床心理士を招き「よりよく生活するためのリハビリテーション」「当事者への接し方」をテーマに開催しました。

またご家族が日頃困っていることや聞きたいことなどを自由に話す場も設けており、参加したご家族からは「自分の胸の内を話すことができスッキリした」「他の家族の対応などが聞けて勉強になる」などのご感想をいただいております。

今後もご家族同士が元気になるような企画を予定しておりますのでお気軽にご参加ください。 ※当院への通院、入院されている患者様のご家族が対象になりますのでご了承ください。

毎月第4金曜日 14:00~16:00 場所: 当院南館3階 会議室

- 参加費無料で申し込みの必要はございません。
- ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡下さい。
- なお、ご希望があれば毎月開催案内を郵送できますのでお問い合わせ下さい。

問い合わせ: 医療相談室 あゆみ会担当まで TEL. 877-6467